

「味のふるさと便」をどうぞ

延岡ふるさと加工ネットワーク会

受け付ける 始め 「ふるさと、や、母ちゃん」の味

6/27

延岡ふるさと加工ネットワーク会の各グループの代表者



延岡ふるさと加工ネットワーク会（小野ます子会長、5団体約30人）が、成19年度から開始し、今ではリピーターが出るほど好評です。

受け付けの始まった加工品セット「味のふるさと便」



どの好評企画。小野会長は「全て手作り、夏に向けてさっぱりした商品も準備しました。ふるさとや母ちゃんの味を堪能してみてください」と呼び掛けている。

小野会長は「玉手箱み

お中元用とお歳暮用として地元で取れた野菜や果物の加工品を販売。現在、北川に3、北浦と延岡に各1グループあり、今回は各グループが2品ずつ出品して10商品をそろえた。

セット内容は、桃と梅のゼリー（2個）「みそ漬」の詰め合わせ（1袋、80g）「ゆずかりんとう」（1袋、70g）「油みそ」（1パック、150g）「梅干し」（1パック、同）「ばんば漬」（1袋、130g）「梅のしょうゆ漬」（1パック、150g）「ひじき」（1袋、30g）「もろみ」（1パック、180g）「乾燥しいたけ」（1袋、原木）これにサービスとして「ほおずき」が付く。

たいと喜んでくれた人がいて、そういう人たちの言葉を励みにして活動しています。商品は各グループのいち押しです。お盆休みに帰省できない県外の皆さんにも味わってほしい」と話している。

料金は3200円。消費税と送料（全国一律）込み。200個限定で売り切れ次第終了。受け付けは7月20日締め切り、25日発送。希望者は電話かファクスで申し込む。ファクスの場合は、振込用紙送付先の住所と必要な振込用紙の枚数、名前、連絡先を明記する。

問い合わせは、小野会長（☎延岡20・1130）か伊藤久恵会計（☎延岡46・3530）。ファクス番号も同じ。

ふるさと納税日本

「実現へ」

延岡市が体制を強化

6/27

延岡市は、商工観光部の「フードプロモーション推進室」を「ふるさと納税・フードプロモーション推進室」に改称する。読谷山市長が公約に掲げる「ふるさと納税日本」の実現に向け、専任職員2人を増員するなど体制を強化する。7月1日から。

ふるさと納税に強力に取り組み、寄付の用途のさらなる多様化、返礼品の新規開発などを推進すること、寄付の件数・金額の大幅な増加を目指す。また、物産品の新規開発や販売力強化、販路拡大など通じて、地場産業の振興につなげることを目的とする。

現行の「フードプロモーション推進室」は、室長（観光戦略課長兼務）

と室長補佐（同課物産振興係長兼務）、室員3人（同課兼務）の計5人だが、改称後の「ふるさと納税・フードプロモーション推進室」は室長と室長補佐、室員6人（専任2人、兼務4人）の計8人に体制を強化。

室員6人のうち、増員する専任職員2人については、観光戦略課兼任の主査から昇任する係長級と一般職員が就く。残る4人は同課兼任職員2人のほか、農業畜産課と水産課の兼任職員を配し、全庁横断的に第1次産業を含めた地場産業の振興や、財源確保などに取り組む。